

露店等の防火安全チェックシート



露店等を出店する時は、出店者は次の項目をチェックし、火気及びガソリンなどの取り扱いに十分注意して火災予防に努めてください。

また、万が一火災が発生した場合は、速やかに119番通報するとともに初期消火を行ってください。

◆ガソリンを取扱う場合は裏面を確認してください。

出店場所

- 建物の避難口や階段の近く等で、避難の障害になっていませんか？
- 消火栓や防火水槽など消防水利の障害になっていませんか？
- 消防車両が接近できますか？

火気関係

- 器具は不燃の台を使用していますか？
- 周囲に可燃物はありませんか？
- ガスボンベは転倒防止措置がされていますか？
- ガスホースをホースクリップで止めていますか？
- ガスホースにひび割れ等はありませんか？
- 炭・練炭は、使用后、完全に消火しましたか？
- たばこの吸殻入れは、水の入ったバケツ等が準備されていますか？

電気関係

- 配線に亀裂はありませんか？
- 配線接続部のゆるみ、劣化等はありませんか？
- 配線を挟んだり、踏みつけたりしていませんか？
- 照明器具が可燃物に接触していませんか？
- 許容電流を超える器具が接続されていませんか？
- 使用中、配線接続部等は熱くなっていませんか？

初動対応

- 消火器は準備していますか？
- 消火器の使い方はわかりますか？
- 火事になった場合の119番通報要領はわかりますか？

ガソリン取扱いの注意事項



ガソリンは、火災を発生させる危険が非常に高く、ちょっとした不注意で思わぬ事故になる恐れがあります。つぎのポイントを守り、事故を未然に防ぎましょう。

容器

- 消防法令に適合した金属製の携行缶を使いましょう。
- ポリタンクは絶対に使用しないでください。

購入する時

- ガソリンを携行缶に入れる時は、危険物取扱者の資格が必要です。
- セルフスタンド等では絶対に自分で入れないで、店員に依頼して購入してください。

運ぶ時

• 容器のふたをしっかりと閉め、容器が落下したり転倒したりしないようにしてください。（乗用車で運ぶことのできる量は22ℓまでです。）

置き場所

• 直射日光が当たらず温度の高くない場所で、通気性の良い火の気がない安全な場所に置いてください。

発電機に補給する時

- 火の気がない安全な場所かつ、人がいない場所で行ってください。
- 運転中の燃料補給は絶対に行わないでください。
- 携行缶のふたを開ける時は、ガス抜き等の操作等説明書等に従って行ってください。
- 灯油用の給油ポンプは絶対に使用しないでください。